

21056 心理学基礎実験 a Psychological Experiments		2 年次～ 通年 3 単位	
担当者	立木 徹	履修可能学科	W
		関連資格	心理 (W)
サブタイトル	実験を通じて心理学を学ぶ		
授業内容 ・ ねらい	<p>心理学の実証的研究がどのように行われているかを体験的に理解するために、さまざまな心理学基礎実験を行います。その中で、仮説の設定、実験方法、結果の整理と分析について学びます。また、人が無意識に行っている行動に一定の法則のあること、人の心を理解したり支援したりする時には、その行動法則を理解することが重要であることを学んでほしいと思います。</p> <p>この授業をうけることで、人の心をかいま見ることのすばらしさや心の不思議さが体験できるでしょう。</p>		
授業計画	<p>前期の実験 前期は以下のテーマで実験を行う予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感覚・知覚実験として：皮膚感度、ミュラー・リエル錯視、大きさの恒常性についての実験 2 学習実験として：対連合学習、訓練の転移、概念学習についての実験 3 社会心理実験として：対人距離の測定、男女カップルの関係調査 4 検査実習として：疲労検査 	<p>後期の実験 後期は、グループごとに調査、実験テーマを設定しその検証を行います。</p> <p>具体的には、調査もしくは実験テーマを設定し、調査項目の確定など実験方法を決定します。次に、調査等の実施によってデータを収集し、それを分析します。最後に、目的、方法、結果、考察の順序に研究成果をまとめ、発表します。</p>	
教科書 参考書	教) 木下富雄著『教材心理学』（ナカニシヤ出版）		
評価方法	出席、実験中の行動、レポートを総合して決めます。		
事前準備学習 履修条件等	実験はグループで行うことが多く、出席を重視します。事前の予習は不要です。		